

令和元年第4回今帰仁村議会臨時会会議録

招 集 年 月 日	令和元年7月29日			
招 集 場 所	今帰仁村議会議場			
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開 会	7月29日 午前10時00分		
	閉 会	7月29日 午後3時25分		
出 席（応招）議員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1	島 袋 誠	8	與 那 勝 治
	2	上 原 祐 希	9	山 城 太
	3	與那嶺 透	10	與 儀 常 次
	4	座間味 薫	11	嘉 陽 崇
	5	座間味 邦 昭		
	6	吉 田 清 尊		
	7	玉 城 みちよ		
欠 席（不応招）議員				
会 議 録 署 名 議 員	8	與 那 勝 治	9	山 城 太
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た も の	事 務 局 長	我那覇 尚 一	書 記	松 田 洋 子
	局 長 補 佐 兼 議 事 係 長	玉 城 民 枝		
地方自治法第121条に より説明のため議場に 出席した者の職氏名	村 長	喜屋武 治 樹	経 済 課 長	久 田 哲 史
	副 村 長	謝 花 良 竹	住 民 課 長	仲 村 美奈子
	教 育 長	玉 城 奎	福祉保健課長	宮 里 政 有
	総 務 課 長	我那覇 隆 文	幼 保 連 携 推 進 室 長	宮 里 晃
	企画財政課長	田 港 朝 津	会 計 管 理 者	金 城 寛 樹
	学校教育課長	桃 原 秀 樹		
	社会教育課長	嘉 陽 健		
	建 設 課 長 兼 水 道 課 長	嶺 井 雄 二		

令和元年第4回今帰仁村議会臨時会

議事日程第1号

令和元年7月29日（月曜日）

1. 開 会 午前10時

2. 付議事件及び順序

日程 番号	議案番号	事 件 名	摘 要
1		会議録署名議員の指名	
2		会期の決定	
3	議案第33号	工事請負契約について	説明・質疑 討論・採決
4	議案第34号	令和元年度今帰仁村一般会計第3回補正予算について	説明・質疑 討論・採決
5	報告第5号	専決処分の報告について	報 告

○ 座間味 薫 議長 おはようございます。ただいまの出席議員は11名です。定足数に達しておりますので、直ちに令和元年第4回今帰仁村議会臨時会を開会します。本日の会議を開きます。

(開会時刻 午前10時00分)

日程第1. 「会議録署名議員の指名」を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定によって、8番 與那勝治議員、9番 山城太議員を指名いたします。

日程第2. 「会期の決定」の件を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間としたいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって会期は、本日1日間に決定いたしました。

次に、去る6月20日に行われた令和元年第2回定例会、議事日程第1. 「議案第31号 令和元年度今帰仁村一般会計第2回補正予算について」における10番與儀常次議員の質疑に対する説明の中で、学校教育課長より発言訂正の申し入れがありますので訂正させます。桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 おはようございます。去る6月定例会、議案第31号の一般会計補正予算審議において、10番與儀常次議員の質疑中、小学校費の空調設備関連予算において、その時点での学校からの要望箇所、全教室と捉えてご説明をいたしました。言葉の取り違えで誤解があるといけないので、補足説明とさせていただきます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 これから質疑を行います。質疑はありますか。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 ただいまの課長の説明では、全教室にはまだ入っていないということで理解していいわけですね。特別教室云々別に、天底小学校も全教室にクーラーはまだ設置していないということで、理解してよろしいですか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質疑についてご説明いたします。

普通教室というのが、今、普通学級と特別支援学級で普通教室と呼ばれております。特別教室というのは理科室等の特別な目的のために使用する教室でございますが、普通教室については小中学校全教室に導入されております。特別教室については各学校未設置の教室が一部あるということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 特別教室というのは、技術とか家庭科とかの特別教室。支援が必要な子供たちの教室は、特別教室ではなくて普通教室ということで理解してよろしいですか。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前10時06分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時06分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

一般的に普通教室と呼ばれている教室については、普通学級及び特別支援学級を普通教室と呼んでおります。議員がおっしゃいますとおり特別教室というのは、理科室等、音楽教室とか、特別な目的に使用する教室ということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 では子供たちが通常勉強のために使っている教室はみんな普通教室ということで理解していいということですので、いいんだったら、この普通教室はもう大体天底小学校は整備が終わっているということで理解してよろしいですか。理科教室とか別の特別教室は別として、子供たちが通常使用するのが普通教室ということですので、その教室はほぼ天底小学校についてはクーラーは整備されているということで理解してよろしいですか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

去る6月議会において天底小学校のスマイル教室、これは特別支援教室でございますが、スマイル教室の完了については今まだ行っているところで、夏休み明けには普通教室、いわゆる普段授業に使用される教室については完了予定ということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの10番 與儀常次議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 ただいま課長の説明では、では2学期からはみんな使えるということで理解してよろしいですか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

普通教室について2学期から使用するということは可能でございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。これで質疑を終わります。

日程第3. 「議案第33号 工事請負契約について」を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 皆さん、おはようございます。

議案第33号

工事請負契約について

今帰仁西地区3号農排工事について、次のように工事請負契約を締結したいので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求めます。

1 契約の目的	今帰仁西地区3号農排工事
2 契約の方法	指名競争入札
3 契約の金額	74,520,000円
4 契約の相手方	今帰仁村字越地284番地 有限会社 丸島建設 代表取締役 島袋 松男

令和元年7月29日提出
今帰仁村長 喜屋武 治 樹

提案理由

今帰仁西地区3号農排工事の請負契約の締結については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和47年条例第18号）第2条の規定により、議会の議決を必要とするため、この議案を提出します。

なお、工事請負契約書を添付しておりますのでお目通しください。

○ 座間味 薫 議長 これから質疑を行います。質疑はありませんか。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 議案第33号 工事請負契約について質疑いたします。下の提案理由には今帰仁西地区3号農排工事の請負契約の締結についてとありまして、次のページ、工事請負書の中に工事名今帰仁西地区3号農排工事、工事場所が今帰仁村字諸志地区ということでありますけれども、この説明と次の3 工期は書かれていないのですが、工期が書かれていない理由です。どうしてないのか。説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 10番與儀常次議員の質疑に対してご説明いたします。契約書の7の特約事項にも書かれておりますが、相手方に通知した時点で効力が発生するというので、きょう議決をいただければ、きょうが本当の契約日になります。工期もきょうからということになります。工事場所につきましては国道505号、諸志御嶽の植物群落の手前を右に、こちらに排水が流れていますが今は三面張りで、これをちょっと拡張して下流の河川のほうまでつなげていくという工事になります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 今の課長の説明では、工期がこの議会が終わったら入ってくるということで、工期が今まで今帰仁の工事は余り工期が守られてなくて、これは罰金もないということで工期を打ってもないようなものの形で今進んでいる状況ですが、これは村長に答弁してもらいたいものだけれども、この工期をうたって本当に工期を遵守しながら工事を行うことができそうなのか。今までどおり工期を打ったけど、できるときでいいという形で今まで工事が進んで、1年近くもおくれた事業があったのですが、この工期の取り扱いについてはどういう方法で進めていくのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時15分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時15分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑についてご説明いたします。

今10番議員のおっしゃるとおり、工期が延びた経緯もあります。村としては適正な工期を設けて今発注している状況であります。去年から評価もつけて業者の点数もつけて、これを今業者に通知して、どこどこが悪いとかという指摘もしていますので、この辺を含めながら今後は適正な工期をやっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 ぜひ工期も指導してやって、前副村長が内閣府まで2回もおわびしてきていますので、今後はこういうことがないように業者に工期を守るように、指導もあるべきだと思います。県の事業だったら、工期がおくれたら罰金もあってペナルティーもあるんですよね。今帰仁村はこれがないのですので、ぜひ業者にそういうことも守るように指導もあるべきだと思いますけれども、今までの経緯で業者の自分勝手な理由で工期が延びてきていましたので、今後はそういうことのないように、どういった方法で今後取り組んでいくのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑についてご説明いたします。

村としまして、平成30年度より指名停止の基準を設けていろいろ項目をつくっております。これに基づいて今後工期というか、指名するかしないかは判断していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 議案第33号について質疑いたします。

この農排工事というのは何のために行うのか。農排というのはどういった意味なのかの説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 9番山城議員の質疑について説明いたします。

農排と書いておりますが、農業排水路のことです。農業に關しての農林の事業なので、農業排水路の事業ということになります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 であるのであれば、正式にそういった文言を書くべきではないか。これで大丈夫、問題ないからそのまま農排工事と書いたと思うのですけれども、できれば正式名称で書いていただければと思います。なぜ工事を行うのか。具体的な工事内容の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑についてご説明いたします。

西地区につきましては、今泊、兼次、諸志、3地区で事業を進めてまいりました。来年、平成27年度からこの事業を行っておりまして、事業採択をするときに地域からの要望を受けて、この事業を採択させた経緯があります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時19分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時19分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑についてご説明いたします。

この工事につきましては、現在三面張りの排水路があります。この排水路が今1.5mぐらいの幅ですか。大きいところで3mぐらいになりますが、これを改修して最大で4.5mの幅と3m、1.5倍ぐらいの幅を広げて工事をする予定です。距離にしては295mぐらいになりますが、これを整備していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 9番山城 太議員。

○ 9番 山城 太 議員 農業用排水路ということなので、近くにはハウスがいっぱいあると農薬とかと一緒に流れていくものだと考えているのですけれども、その辺の対策です。これは川を伝って海に流れて行くわけです。魚とかいろんな生き物がいるところで、そういったのに対して影響が出ないのか。対策等はとるのか。その辺の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

現段階では現状の拡幅ということになります。一昨年も議員のほうから通報があって、魚が浮いた経緯がありましたが、水質を調べた結果、何もないということになっているので、この辺はまた現状を見回りしながら、注意しながらやっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの9番 山城 太議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。9番山城 太議員

○ 9番 山城 太 議員 農業用排水路で先ほど答弁にもあったのですが、魚が結構多量に死んでいた件がありまして、下の川は子供たちが入ることもあるのです。それを考えるとそういった状況があったことに対して、何か対策を講じるべきではないかと思うのですけれども、再度答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

先ほども申しましたように今のところは現状のままで排水路を拡幅するということになっておりますので、この辺はまた環境を見ながら、経済課と調整をしながらでもやっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 議員第33号 工事請負契約について質疑いたします。

今回7,400万円余りの金額というところでの議会の議決が必要だということで、私たちのほうもこの計画について質疑をするのですけれども、ただ、実際内容が全くわからない。場所がわからないということと、先ほど工期に関して契約をしてからということであったのですが、せめて工期は最初に何カ月かということはわかると思うのです。そういったもうちょっと判断しやすいような工事内容と場所、そして工期が何カ月になるということを提示することは今後できないのか。ただ金額だけで、私たちが判断す

るというのは、それに対して何も異議はないのですけれども、もうちょっとこの契約に対して判断できるような材料を提示できないのか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 5番座間味議員の質疑に対して説明いたします。

位置図とか工期とかという話であります、この辺はまた添付資料で位置図と工期の何日間ということは示せるのかと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 それで工期は今何カ月を予定しているのか。あと、もともと排水路があるところに、さらにその整備をするというところで、これが排水する能力がもう足りないというところでの工事なのか。ただ老朽化したためのかえなのか。その辺の内容を改めてもう一度詳しく説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

工期は、たしか160日だったかと思います。老朽化なのかということではありますが、下流のほうから、今泊のほうから逆流して、潮が上がって満潮になってということもあって、老朽化と幅が狭いということで今、拡幅を計画して、事業を進めていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 工期は160日読んでいると。この契約に関しての質疑になるので今のように工期は締結してからの160日ということなのですから、せめて工期は160日あるとか、また今回こういう理由でこの工事を行いますと、ある意味図面、場所の添付の後にまたその理由とか、その辺がないとなかなか質疑がしづらいというか、こういう意味での必要性があるのだということがわかりやすく、ぜひ開示していただきたい。やはり工事をするからには理由があると思います。その理由までぜひわかりやすく、今、潮が入ってきてとかいう話があったのですけれども、こういった形で工期、内容、工事の規模、そしてそういう工事をするに当たって、こういう理由でこの工事は行いますというところの説明を今後していただきたいと思いますので、その辺再度答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

今後は議員の皆さんがわかりやすいように情報提供をしながらやっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの5番 座間味邦昭議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 実際予算審議の中でも、こういった新年度予算の中にはいろいろ工事名が出てきはしますが、なかなか細かくてわかりづらいというところの中で、これだけの大規模な工事が出た場合にはやはりそれなりの説明をしていただきたいと思いますので、先ほどしていくということだったので次回からの議案で提出される場合には、また当初の予算とかでも、ぜひその辺をもうちょっと詳しく説明できるような形で今後議会に対しての説明を求めたいと思っていますので、最後に改めて、

またその辺を含めて答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

今後は議員のおっしゃるように情報提供しながらやっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 質疑いたします。

今までの質疑の中で大体把握はしておりますが、幅を1.5mぐらい拡張というふうに聞いておりますが、これは道路と隣接しているところもふやすという形だと思うのですが、ガードレールとかそういった安全対策というのはですか。そこを2メートルトラックとか、もうちょっと大きいのも通行すると思いますので、その辺の対策等ももちろん入っているのかどうか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 3番與那嶺 透議員の質疑に対して説明いたします。

ガードレール、安全対策は今のところ工事の中には入っていない状況です。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 これはぜひ入れていただかないと。また、通学路も近くで、国道沿いということで小学生とか子供たち、自転車も通行すると思いますので、今後これをやっていく予定、計画していくのか、伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

今後は多分排水路が大きくなるため、安全対策は考えないといけないと思っておりますので、また何らかの対策は練っていききたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 高さが川底から2m余りあります。字のほうでも作業をしたりやりますので、昔私もあちらで遊んでいたこともあって、結構大雨とかになったら向こうは深くなるのです。またあの高さから転落してしまったら、やはり大けがになるかと思っておりますので、ぜひガードレール等の安全対策をしていただきたいと思いますので、再度答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

今後は安全対策を含めて検討していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 工事請負契約について質疑いたしますが、今何名かの議員の質疑によりある程度わかったのですが、こちらは字からの要望等もあって拡張工事ということで、要は特に大雨時には水があふれて畑に流れていたと思います。それはこの拡張工事によってこれはクリアできたということになれば、大雨が降った際に山側から来る水が土地改良のほうに、あとはその道沿いの川に入って、最終的には今泊のほうに流れるとは思いますが、大雨の際よく見てみると、その合流した地点からの諸志、

兼次、今泊側が結構あふれるのです。あふれる光景を何度も見えています。その拡張工事をやることによって、この本線のほうがより水量がふえてあふれる状態にならないかとちょっと懸念されますが、その点についてどう理解しているか。あと、これを含めて今後また本線というか、ちょっと表現はわからないのですが、最後に流れ着くところのほうもまた考えているかどうか。答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 1 番島袋 誠議員の質疑に対して説明いたします。

誠議員がおっしゃるように、これは住民からの要望がありました。先月ですか、住民が集まって検討会というか勉強会を開いて、今の現状では確かに下のほうがあふれると。今の現状ではどこも解決ができないような状況になっております。今後事業を探しながら、川を浚渫するのか。今整備するところの受け口をつくるのかとか、いろいろ住民と意見交換をしました。今後事業を探しながら、住民もやっていきたいということなので、今後はまた住民と意見交換をしながら解決方法を見出していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 これだけではなくて、また今後いろいろ協議をしながら進めていくということでありました。何年か前に法面のほう、この土で覆われているほうを補強という、形にしてある程度また流れない工夫もしていたと思います。また先ほどの話に戻すのですけれども、そちらから諸志、兼次、今泊方面のまだ未整備なところがやはりあって、土がどんどんえぐれてきている状況が見られますので、やはりその辺、この拡張工事によってまた水量がふえてくると思いますので、その点をまた。先ほども答弁があったのですけれども、再度答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

確かに今おっしゃるとおり、今、上を整備するとちょっと下に影響が出るということになっておりますので、この辺はまた今のところは排水を浚渫して少し下げる方法とかいろいろ検討しております。この事業をするに当たり事業費が莫大になりますので、その辺もまた事業を探しながら、農家と一緒に意見交換をしながら検討していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。6 番吉田清尊議員。

○ 6 番 吉田清尊 議員 この工事で今泊側の下流のほうが、この水の量がスムーズに流れることによってあふれ出るというようなことが考えられるわけですが、その場合に今もありましたけれども、これは浚渫を考えていただきたいのですが、この川底を深くしていったら、それからまた川の堤防といいますか、畑との間の。この堤防を少し高くしていくとか、そういう対策が可能なのか。農家の方々は大雨のとき、あるいは台風のときとかに畑、あるいはハウスとかに水があふれ出て、大変な被害であるということもおっしゃっていますけれども、そのような抜本的な側溝を深くしていく。あるいは当面は浚渫する。深くしていくことが可能なのか。それから、この川のそばの土手といいますか、堤防といいますか、そのあたりを少し高くしていったら、そこを軽トラックとか車が通るものですから、そののほうを車の通る整備も含めた抜本的な今後の予算メニューを探すことが可能なのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 6番吉田清尊議員の質疑に対して説明いたします。

堤防を上げるのは道の高さとかいろいろありますので、ちょっと厳しいのかと考えております。先ほど申しましたように、上からの水をいかに軽減して下のほうに流すのかということで、下から満潮になると海水が上がってくるということで上からの水をどうにか、上でとめて軽減して下のほうに流すというような方法で、今浚渫とかいろいろ考えております。今後も農家と意見交換をしながら、下流も上流も被害をこうむらないような方法で検討していきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 この浚渫のほうもですが、本当に短い間に、あっという間にこの土砂がたまる。あるいは草が生えるということがありますけれども、今後そういう浚渫を定期的にといいか、余りたまらないうちにやっていくことも検討課題として取り上げていく考えがあるか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時37分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時37分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 6番吉田議員の質疑について説明いたします。

浚渫に関しては経済課のほうの農地水という事業があつて、重機のリースですか。要するに字の作業の中で重機をリースして浚渫していったりという事業があります。浚渫につきましては、多分たまるのはあっという間にたまるのかと。今農家からも情報交換をした中で、浚渫をしてもすぐあっという間にたまるということなので、この辺はまた浚渫をしない方法でどうにかいい方法がないのかということで、今後勉強しながら事業採択をやっていこうという農家からの要望がありますので、この辺はまた農家の意見を聞きながらやっていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「討論なし」と認めます。

これから「議案第33号 工事請負契約について」を採決いたします。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって「議案第33号 工事請負契約について」は、原案のとおり可決されました。

日程第4. 「議案第34号 令和元年度今帰仁村一般会計第3回補正予算について」を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長

議案第34号

令和元年度今帰仁村一般会計第3回補正予算について

上記議案について、次のとおり提案し議会の議決を求めます。

令和元年度今帰仁村一般会計補正予算（第3回）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億7,794万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ58億7,291万1,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第2条 地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

令和元年7月29日提出

今帰仁村長 喜屋武 治 樹

第1表 歳入歳出予算補正

（歳入）

（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
13 分担金及び負担金		60,778	42,451	103,229
	1 分担金	3	42,451	42,454
15 国庫支出金		684,342	317,497	1,001,839
	2 国庫補助金	275,480	317,497	592,977
16 県支出金		876,956	113,998	990,954
	2 県補助金	599,593	113,998	713,591
19 繰入金		267,634	12,202	279,836
	1 繰入金	267,634	12,202	279,836
22 村債		271,800	91,800	363,600
	1 村債	271,800	91,800	363,600
歳入合計		5,294,963	577,948	5,872,911

(歳 出)

(単位：千円)

款	項	補正前の額	補 正 額	計
1 議 会 費		73,350	102	73,452
	1 議 会 費	73,350	102	73,452
2 総 務 費		844,535	1,667	846,202
	1 総 務 管 理 費	705,252	1,667	706,919
3 民 生 費		1,740,673	14,500	1,755,173
	2 児 童 福 祉 費	679,536	14,500	694,036
4 衛 生 費		349,212	551	349,763
	1 保 健 衛 生 費	135,442	551	135,993
6 農 林 水 産 業 費		465,844	155,650	621,494
	1 農 業 費	312,335	155,650	467,985
7 商 工 費		137,761	403,116	540,877
	1 商 工 費	137,761	403,116	540,877
8 土 木 費		467,773	2,362	470,135
	2 道 路 橋 梁 費	278,188	2,362	280,550
	3 河 川 費	131,042	0	131,042
歳 出 合 計		5,294,963	577,948	5,872,911

第2表 地 方 債 補 正

起 債 の 目 的	補 正 前				補 正 後			
	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法	限 度 額	起債の方法	利 率	償還の方法
農村集落基盤再編・整備事業 西地区	千円 22,600	証 書 借 入	5.0%以内 (ただし、 利率見直し 方式で借入 れる政府資 金及び地方 公共団体金 融機構資金 について、 利率の見直 しを行った 後において は当該見直 し後の利 率)	政府資金につ いては、その 融資条件によ り、銀行その 他の場合では その債権者と 協定するもの による。ただ し、村財政の 都合により据 置期間及び償 還期限を短縮 し、又は繰上 償還もしくは は、低利に借 換えすること ができる。	千円 22,600	証 書 借 入	5.0%以内 (ただし、 利率見直し 方式で借入 れる政府資 金及び地方 公共団体金 融機構資金 について、 利率の見直 しを行った 後において は当該見直 し後の利 率)	政府資金につ いては、その 融資条件によ り、銀行その 他の場合では その債権者と 協定するもの による。ただ し、村財政の 都合により据 置期間及び償 還期限を短縮 し、又は繰上 償還もしくは は、低利に借 換えすること ができる。
漁 村 再 生 交 付 金 事 業	17,800	〃			17,800	〃		
水 産 環 境 整 備 事 業	400	〃			400	〃		
村道越地与比地小浜原線改良事業	3,300	〃			3,300	〃		
村道呉我山仲山橋改良事業	3,200	〃			3,200	〃		
村道古宇利一周線道路改築事業	33,800	〃			33,800	〃		
沖縄振興特別推進交付金事業	36,700	〃			57,600	〃		
湧 川 第 2 団 地 新 築 事 業	10,100	〃			10,100	〃		
臨 時 財 政 対 策 債	80,000	〃			80,000	〃		
総 合 活 用 整 備 事 業 (災 害)	3,100	〃			3,100	〃		
庁 舎 建 設 事 業	60,800	〃			60,800	〃		
本部半島・伊江島エリア観光促進事業 (古宇利島観光拠点施設整備)	0	〃			70,900	〃		
合 計	271,800				363,600			

なお、詳細については担当課長より説明をさせていただきます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 議案第34号 令和元年度今帰仁村一般会計第3回補正予算についての歳入歳出について、節におきまして300万円以上の項目について説明させていただきます。

7ページをお開きください。13款分担金及び負担金、1項分担金、1目農林水産業費分担金、補正額4,245万1,000円につきましては、1節農業費分担金の中の災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業の4,245万1,000円によるものでございます。

8ページをお願いします。15款国庫支出金、2項国庫補助金、8目商工費国庫補助金、補正額3億1,550万7,000円につきましては、1節の沖縄北部連携促進特別振興事業の本部半島・伊江島エリア観光促進事業の同額の歳入によるものでございます。

9ページをお願いします。16款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金、補正額1億1,319万9,000円につきましては、1節農業費補助金の災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業によるものでございます。

10ページをお願いします。19款繰入金、1項繰入金、1目繰入金、補正額1,220万2,000円は、1節繰入金の財政調整基金より1,110万2,000円と今帰仁村公共施設等総合管理基金からの繰り入れによるものでございます。

次、11ページをお願いします。22款村債、1項村債、1目総務債、補正額2,090万円は、1節総務債の沖縄振興特別推進交付金事業によるものでございます。また、次の9目商工債、補正額7,090万円は、2節観光振興債の本部半島・伊江島エリア観光促進事業によるものでございます。

歳出の部に移ります。14ページをお願いします。歳出、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、補正額1,450万円、こちらのほうは15節工事請負費、幼保連携一体化施設整備事業の計上によるものでございます。

次、16ページをお願いします。6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費、補正額1億5,565万円は15節工事請負費、災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業の計上によるものでございます。

次、17ページをお願いします。7款商工費、1項商工費、2目観光振興費、補正額4億311万6,000円は13節委託料にあります、本部半島・伊江島エリア観光促進事業の1,076万3,000円と今帰仁村着地型観光推進事業の795万円が主なものともう一つ、15節工事請負費の本部半島・伊江島エリア観光促進事業の3億8,356万円の計上によるものが主なものでございます。それから同じページの5目景観形成強化事業ですが、15節、17節にあります補正額はありますが、工事請負費の景観形成事業、マイナス339万8,000円と公有財産購入費、景観形成強化事業339万8,000円は予算の組み替えによるものでございます。以上、節において300万円以上の予算の説明といたします。

○ 座間味 薫 議長 これから歳入についての質疑を行います。歳入一括で行います。質疑はありませんか。6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 7ページをお願いします。7ページの13款分担金及び負担金、1項分担金、1目農林水産業費分担金、1節の農業費分担金、金額としては4,245万1,000円、災害に強い高機能型栽培施

設導入推進事業、これとこれの関連が9ページの16款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金、1節の農業費補助金1億1,319万9,000円、災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業、これについての詳しい内容の説明を求めます。それから戻りまして、8ページの15款国庫支出金、2項国庫補助金、8目商工費国庫補助金、1節の沖縄北部連携促進特別振興事業、本部半島・伊江島エリア観光促進事業3億1,550万7,000円、これについての詳しい説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 6番吉田清尊議員の質疑に対しまして説明いたします。7ページ、13款分担金及び負担金、1項分担金、1目農林水産業費分担金、1節農業費負担金の4,245万1,000円に対しましては、農家負担金となっております。

続きまして、8ページの15款国庫支出金、2項国庫補助金、8目商工費国庫補助金の中の1節沖縄北部連携促進特別振興事業につきましては、これは古宇利拠点施設の国庫補助金となっております。

9ページ、16款県支出金、2項県補助金、4目農林水産業費県補助金の中の1節農業費補助金につきましては、災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業に対する県からの補助金でございます。細かいことにつきましては、歳出のほうで説明したいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 7ページのほうで分担金、この農家の分担金の割合、何十%、あるいは何割の負担なのか、お伺いしたいと思います。

それから8ページの本部半島・伊江島エリア観光促進事業、この国庫補助金ですけど、国庫補助のこの北部連携促進特別振興事業の国の補助率、それについてお伺いしたいと思います。

それから9ページの災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業、このほうの県の負担割合は何十%か、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑に対しまして説明いたします。

7ページ、農家の負担率ということなのですが、関連しまして9ページの4目農林水産業費県補助金に関連しますので、まずは9ページのほうから、県の負担率は80%以内となっておりますので、その残り分が農家の負担金ということになります。なので、20%以上ということになります。8ページにつきましては、国庫の負担率は80%以内という規定となっております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 8ページ、歳入、15款国庫支出金、2項国庫補助金の1目総務費国庫補助金の中の7節沖縄観光防災力強化支援事業の中に199万円と、次の9ページにも1節総務費県補助金の中にもそういう項目が79万9,000円とありますけれども、この事業の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 10番與儀常次議員の質疑についてご説明申し上げます。

8ページ、歳入、15款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、7節の沖縄観光防災力強化支援事業についてでございます。沖縄観光防災力強化支援事業については、海外、それから県外から観

光客が多数いらっしゃっているわけですが、大規模災害時に港湾、空港、道路等、復旧が必要になった場合に、復旧までの間、海外、県外からの観光客が足どめになると。観光避難民となることが想定されるということで、その際に安心・安全な観光地の形成を促進し、沖縄の観光振興に資することを目的として整備を図るという事業でございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 10番與儀常次議員の質疑について説明いたします。

9ページの16款2項1目の2節沖縄振興交付金事業補助金の79万9,000円につきましては、沖縄振興特別推進交付金の金額が県からの補助金として増額になる分でございます。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 再度、この沖縄観光の件についてお伺いします。

課長の説明では沖縄に観光に来た外国人が災害等のときに足どめを食らったときの費用ということでありますが、災害を想定した予算だと思うのですが、泊まるホテルとかも予定しているのか。それとまた、これは災害等がないときはこのお金は返すのか。ないときはこのお金はどうするのか。別に使えるのかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

今回の事業で整備するものとして、観光客が足どめを食らってといいますか、避難所等に避難しなければならなかった場合ということで今回予算をつけてありますけれども、内容としましては発電機、それからLEDライトリール、LED電球つき延長コードというのですか。それと保存食を今回購入して常備したいということにしてあります。それと商工費のほうに一つついておりますけれども、観光防災マップの作成も予定しておりますので、その分の歳出に伴う歳入ということでございます。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 備蓄等で説明があったのだけれども、これは外国人に限るのか。本土からもしばしば来るのだけれども、飛行機が飛べなくなったとかよくニュースに出るけれども、空港で寝泊まりして云々とかありますが、やんばる、今帰仁に来た人たちは、役場に台風で帰れませんかとか来たときに、これを提供するのかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

今、観光客ということですが、これは海外観光客に限らず国内からの観光客も含めて、そういう対象となります。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの10番 與儀常次議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 では観光団が来て、そういう方々がいるときは役場に問い合わせをすれば、今帰仁村だけではなくて各市町村、そういうサポート、ケアはできる状況に今、沖縄県はありますか。お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

まず村内については、そういう災害が起きたときには役場なりに問い合わせいただければということはあると思いますけれども、これが県内の各市町村の連携の部分でできているかということについては、申しわけございません。今のところこちらが把握していない部分もありますが、今帰仁村が別と連携をとっているかという部分でいくと連携はとれていないので、県内も恐らくその部分については連携は不十分なのではないかと思っております。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 議案第34号について質疑いたします。

歳入です。8ページ、今ありましたけれども、15款2項1目7節沖縄観光防災力強化支援事業、これは令和元年より新規で行われる事業だと思われませんが、この予算計上までのプロセスというのですか。これは村から要望してこの金額になっているのか。その辺の金額の根拠、この辺の説明と、それと11ページ、22款1項1目沖縄振興特別推進交付金事業、これは村債補正で上がっているのですけれども、これもこの補正で上がってきているこれまでの予算計上までのこのプロセス、その辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 8番與那勝治議員の質疑についてご説明申し上げます。

今年度から3カ年ということでこの事業は予定されておりますけれども、このプロセスということですが、昨年、ちょっと時期的なものはよく覚えてはいませんが、総合事務局のほうから市町村のほうに事業の説明等がございまして、高率の補助があると。そのような観光力の基盤整備ということでの補助事業もありますよということでのご説明は受けました。その中で今帰仁村としましては、今年度について避難所等における発電機とか備蓄食料、それから防災観光のマップの作成ということでエントリーさせていただいた状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時13分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時15分)

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午前11時15分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時26分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 8番與那勝治議員の質疑について説明いたします。

11ページの22款村債、1項村債、1目総務債、1節総務債の沖縄振興特別推進交付金事業の予算計上のプロセスということでございますが、こちらのほうは起債の申請によって国に認められたものの計上でございます。その内容としましては、民生費への充当と土木費への充当になります。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時28分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時28分)

8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 これは去年ですか、総合事務局より村へあったということでありましたけれ

ども、先ほども高額補助ということもありました。この補助率と、これに充てたいこの事業費、これの上限とかそういうのはあるのかどうか、お伺いします。11ページは先ほどの説明でオーケーです。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

まずこの事業で今回予定しております発電機、それからＬＥＤライトリール、備蓄食料については補助率が10分の9以内ということになっております。それと先ほどの関連するところで歳出、商工費のほうに観光防災マップということで、その作成も予定しておりますと言いましたが、それについては定額の50万円ということでございます。先ほど事業の上限ということでもございましたけれども、これについて今回平成31年度の概算要求額ということで国が10億円、新規でということでありましたが、これは各市町村、恐らく予算の範囲内であると思いますが、この上限についてはちょっと不明な点もありまして、1市町村に上限枠が設けられているのかについては調べてからまたご報告させていただきたいと思っております。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 当初予算で10億円という中で、今帰仁村は199万円なのです。これはもう少しいろいろ案を出せばもっと行けたのではないかというふうにも思うし、補助率もいい。50万円の定額補助とかそういうのもあるのですけれども、これはどのように食料備蓄、ＬＥＤとか発電機、この辺にしようというふうに至ったのか。この辺の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

今回この補助メニューについて設定に至った経緯ということでございますけれども、現在今帰仁村では台風の際、コミュニティセンターであったり、古宇利側であれば古宇利のサブセンターを利用したりしておりますけれども、それについて発電機とか停電の際に補うものがないということで、発電機とＬＥＤライトリール、それから保存食についてもほとんど備蓄がない状態でありますので、それについても補うものがほしいということで今回メニューにのっけさせていただいているという状況であります。それから事業促進費として先ほど定額と申し上げましたが、観光防災マップについても海外の方、県外の方が今帰仁村にお越しになった際にそういう大きな災害に遭われると、どこに避難していいのか、どこに行ったらいいのかというのがよくわからない状況もあると思いますので、その辺は今帰仁村の主要の施設等に、このマップを置かせていただきたいということで、その事業メニューになっております。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの8番 與那勝治議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 おおむね理解はしているのですけれども、発電機とかＬＥＤライトリール、食料備蓄とかこういう説明がありましたが、これは199万円、それぐらいの金額の中でこれだけで足りているのですか。もっとあってもいいし、ほかにももっと使えたと思うのです。これをもう少し県の予算要求は10億円です。首相官邸のを見ると9億5,000万円、かなり高額な予算がついているわけですから、もっと知恵を出して要求してもよかったのかと。1億円ぐらい要求してもいいのではないかと思います。

けれども、この辺は遠慮しないでもっともっとばんばん出していいと思うのですが、この辺の説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。今回この事業で199万円ということでありましてけれども、これは令和元年度から令和3年度までの3カ年事業ということで、まずは今帰仁村の場合、次年度、その次の年度ということで備蓄食料について予定はしていますが、今議員がおっしゃられたもので村内に足りないものがある場合は、そういうもので積極的にという趣旨であると思いますが、次年度についてこれが活用できるのか、その枠がもらえるのか。その辺も担当も含めて精査しながら考えさせていただきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 では歳入に対して質疑いたします。

8ページ、15款2項1目7節、先ほども質疑いたしましたけれども、沖縄観光防災力強化支援事業というのが199万円の歳入がありますが、これは今、備蓄食料とかということをおっしゃっていましたが、これは何人ぐらい受け入れる体制の食料の備蓄なのか。またこの事業は、今回今帰仁村はそういった災害の際の発電機とかランプ、非常食の備蓄を想定して事業をしますけれども、ほかにこういった形の事業もこの防災力強化支援事業では想定をしたいのか。他の地域がこういったものをしているのか、お伺いいたします。

それと10ページの19款1項1目繰入金の1節繰入金で、今帰仁村公共施設等総合管理基金から110万円繰り入れしていますけれども、それはどの部分の公共施設の目的でこの110万円を基金から崩して繰り入れしたのか。その目的をお伺いいたします。

それと11ページ、22款1項1目総務債の沖縄振興特別推進交付金事業、2,000万円余りありますけれども、これはどういう目的でこれだけの歳入があるのか。お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 5番座間味邦昭議員の質疑についてご説明申し上げます。

まず備蓄食料について、何人ぐらいを想定しているのかということでございますけれども、まず今帰仁村は観光客の入込数を算定するために今帰仁城跡、それから歴史文化センター、今帰仁の駅そ〜れ、古宇利ふれあい広場食堂、それから古宇利ふれあい広場のパーゴラと、リカリカワルミの観光客の入り込みをまず出させていただいております。今帰仁城跡と文化センターについてはチケットを買いますので人数がすぐ把握できるかと思うのですが、そ〜れ、それからふれあい広場食堂とかそういうところについては、レジを通して物を買っていただいた方々を、まず約3倍掛けして人数を出しております。そうすると今帰仁村には年間150万人ぐらいということで一応計算して、それを365日で割ると、1日当たり約4,000名、正確に言えば4,132名という根拠を出しました。4,132名が大体今帰仁村にどれぐらい滞在するのかと。24時間中2時間程度は滞在するでしょうということで、4,132名を1日のうちの2時間程度ということで、その70%にしたら大体241名になるだろうということですので、それを足どめを食うにしても大体3日間ぐらいでしょうということで、この241名を先ほど言いましたが3カ年計画ということですので、大体

1年間に80食分というのですか。お1人当たり3日間の3食分、80人分というのですか。それを今年度、それから次年度という形で整備していったら合計で241食分、3カ年で241食分ですので今年度は80食、令和2年度も80食、令和3年度が81セット分というのですか、をそろえるという計画をしております。あと他の地域がこの事業を活用してどのような取り組みを行っているのかについては、申しわけございません。情報を今持っていないくて、後でまた報告できれば報告したいと思います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 5番座間味邦昭議員の質疑について説明いたします。

10ページの19款1項1目繰入金の1節繰入金の中の今帰仁村公共施設等総合管理基金110万円の歳入計上でございますが、そちらのほうは公共施設の修繕や用地購入等に充てられる財源として基金がございます。今回の補正につきましては、保健センターの自動ドアや道路用地の用地購入と、それと用地購入費に3項目で110万円を予定しております。

それから11ページの22款村債、1項村債、1目総務債、1節総務債の沖縄振興特別推進交付金事業の2,090万円の計上でございますが、その歳出につきましては幼保連携一体化施設の整備事業と、それから河川費になりますが、そちらのほうの財源調整として起債を充当しております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時45分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時46分)

5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 今説明いただきました、まず8ページの防災力強化支援事業、今回今帰仁村はこういった災害時受け入れ体制の中での非常食とか発電機。これは実際に災害時というのは、観光客だけではなくて村民も含めて、それを使うことができるのかお伺いしたいということと、観光の防災力強化支援事業と、先ほど総務課長のほうから観光力の基盤整備であるのだという、この辺で一つ提案させていただきたいのですが、前、12月定例会でしたか。私たちが現場踏査で古宇利島へ行ったときに、そこがとても危険な箇所であると。ある意味波が高い時期とか、外国の方も多いということで災害が起きないためにも、波が高いときには波打ち際に行くとか、ちょっと危険な通道なのでその辺を整備するとか、これはそういった解釈まで含めて、これはやはり観光の防災力強化、あとは観光の基盤整備ということを考えたときには、そういった解釈でこの事業を使えないのか。あれは本当に波が高いときやけがを起こしたときに、あそこは全く対応できないのと全く危険を予知するような掲示板がないと。波が高いときには、危険が伴いますよということを、やはり日本語、英語、中国語、韓国語も含めてということもやると、これは防災力強化事業にも当たって、あの一帯の整備も含めてできるのではないのかという意味では、今後そういったものの事業も含めて対応できないか、お伺いいたします。

あと10ページの繰入金の公共施設等総合管理基金、支出のほうでは自動ドアが50万円だったのに110万円もあるからちょっと合わないと思ったら、用地購入等も含めてそれは使えるということだったということとで理解いたしました。

あと11ページの幼保連携とかそういったところに使うということでの行き先がわかりましたので、改めて先ほどの8ページの観光防災力強化支援事業の件について、今提案した内容も含めて考えることができ

るのか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

まず初めに、今回事業で整備する発電機等について村民も含めて使えるのかということでございますけれども、この事業については観光に特化したということで観光客に充てるための事業でございますが、これは今帰仁村として災害が起きた場合に避難所というのですか。避難施設というのは観光客、村民ということで分けて使うわけにはいきませんので、この辺については併用といいましょうか、観光客がいればの話ですけれども、観光客も含めて使えるのかと思っております。それから先ほど議員からありました誘導板ではなくて注意喚起の看板とかも設置できるのかということですが、これについて補助事業の一覧の中に多言語避難誘導看板の設置等というメニューがありまして、その他多言語避難誘導等に必要と認められるものの設置等というのに当てはまるのかどうかというところがありますが、この辺については次年度以降も含めて、この事業メニューを問い合わせてみたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 では観光防災力強化支援事業の今ありましており村民も含めて、もしいるようだったらそれは併用するのが可能ではないかと。今その場所はコミュニティセンター等を含めて、どこを想定しているのか。また実際、今観光客が241名も来るような想定をしているとなると、そういった場合、今想定している箇所のトイレやシャワー等も含めてそれが対応できる場所なのか、お伺いいたします。それと、この防災力強化支援事業で危険場所の誘導看板の設置とかという話で、誘導、あるいはまた動線も含めて、通路も道も含めて大げさではないけれども、そういった危険が伴った場合の、けが人を搬送したりするような幅のスペースとか、またそういう注意喚起をするような景観に配慮した看板の設置とか、それは知恵を絞ればいけるのではないのかというのを感じているので、12月定例会では建設課長からは自主財源でやるというような話もありましたが、やるという気持ちはあるみたいなので、ぜひこういった事業を活用して、コンクリートではないのですけれども、ちゃんと安全が保たれて観光客にもその周知をしていただきながら、やはり災害が起きてしまったらせっかくの観光も台無しになってしまうので、その辺の注意喚起をした看板等と道路の多少の整備というものは今後考えていただきたいと思っていますので、改めてその辺答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

今回の事業で備品等をそろえた場合に避難所をどこに想定しているのかということですが、1カ所が今帰仁村のコミュニティセンターと、もう1カ所が古宇利のサブセンターを今想定しておりまして、そこに発電機等を1台ずつ置ければいいと考えております。その中でトイレ、シャワー等の対応ができるかということがありますが、トイレについてはほぼ問題ないのかと思いますが、シャワーについてはクリアできていない部分があります。コミュニティセンターについても実際にシャワーが使えるところはありませし、古宇利のサブセンターについてもシャワーについては厳しいのかと考えております。あと道路整備の件についてということですが、これについてこの事業でいろんなメニューを凝らしてでき

るのかどうかについては、補助対象経費の部分を見ても厳しいような感じはしますが、この辺はもう少し国のほうに確認させていただきながらということであります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの5番 座間味邦昭議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 今、想定しているのがコミュニティセンターと古宇利島の交流センターということで、確かにトイレは対応できるのかと思うのですが、シャワーというのは、やはり長期期間になったらこのシャワーという問題がとてもネックになってくるということで、防災避難場所というものは行政機関が確保しなくてはいけないという中で、中央公民館などは存続していく形になると思いますけれども、今後もし改修が伴うときにはそういった防災の拠点の一つとして、シャワールームやこういった施設も含めて対応していったほしい。やはりこれだけの人数を受け入れるとなると、トイレでも実際足りないような状況であると思います。それに加えてシャワーというのは、万が一災害があったときには長期間になる恐れもあったりする部分があるので、特に台風などの災害のときには夏場はとても暑いです。発電機だけではクーラーは賄いきれない。扇風機だけだとやはり汗をかいてしまう。そういった意味で、やはり体調管理の上でもシャワーが使える施設というのはとても大切になってくるので、この辺は今後検討していただきたいと思っています。

それと古宇利島のハートロックというのは、自分が見る限り県内でも有数な危険な箇所ではないのかと。この前行ったときも雨が降った後というのは、もう歩くのが困難なぐらい。さらに人がたくさん来て、いつかが人が出てもおかしくない。そこからけが人が出たときには、その対応が全くできない箇所であるというのと、やはりリーフまでの距離が短いということで、北風が吹く冬場などは満潮時にはもろに波が来るということで、私たちはあそこによく行く機会があるので行きますが、やはり観光客は波が引くときとても楽しそうに走るのです。でもあれは一步間違えたら大きな事故を起こすかもしれないという意味では、全くやるなどとは言わないですけれども、そういった問題があるということをややはり注意の上では、そういった看板等、その辺は必要であると思いますし、万が一の緊急時のときには対応ができる最低限の通路というのはあの場所には必要だと思いますので、これはぜひ知恵を絞って自主財源でするのもよし、でもできたらこういった事業を活用しながら対応できるようにしていただきたいという意味で、改めてもう一度この件に関しまして答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。議員がおっしゃられますとおり台風の際とか数日間にわたって避難した場合には、シャワーとかも夏場になるととても必要になるかと思えます。それからハートロック等危険な箇所の進入路というのですか、そこの道の部分の拡張についても非常に必要な部分ではあります。このように事業を使ってできるかについては、次年度以降ということになりますけれども、積極的にメニューをまず出してみて、この辺が考えられるところ、メニューを活用できるかどうかについては今後取り組んでいきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。

(休憩時刻 午後0時00分)

午

後

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後 1 時 30 分)

ほかに質疑ありませんか。3 番與那嶺 透議員。

○ 3 番 與那嶺 透 議員 質疑いたします。

10 ページです。19 款繰入金、1 項 1 目繰入金なのですが、その中の両方、財政調整基金はどのようなものに使われるのか。主なものでいいので答弁を求めます。これと、その下の今帰仁村公共施設等総合管理基金。先ほどの質疑でおおむね理解はしていますが、これは昨年ですか、この条例改正でこの公共施設の管理でいろいろ使い勝手がよくなったの基金だというふうに認識しておりますが、これはちょっと確認なのですが村立の保育所、小学校、中学校等、教育施設というのですか。そういった施設の補修や新しくつくるとかそういったものにも使えるのかどうか、伺いたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 3 番與那嶺 透議員の質疑について説明いたします。

10 ページの 19 款 1 項 1 目繰入金の 1 節繰入金の財政調整基金でございますが、今回、本日の第 3 回補正におきます全ての歳出を計算したときに、その中には国庫補助事業等の財源もあるわけなのですが、それに充てられない部分といいますか、一般財源を充てるところについてはその財政調整基金のほうから繰り入れて割り振りをするというふうになっております。

それから 2 つ目の公共施設の総合管理基金でございますが、議員が質疑したとおり、今までは村内の、例えば火葬場の修繕とか個別に基金を持っていたりというところもあったのですが、それを含めて土地を見た場合には財産購入基金とあったのですが、それを一つにしたのが昨年の条例改正でございました。質疑のありましたとおり、村内の公共施設、学校、幼稚園、保育所、それから庁舎、体育館なども含めて、全ての公共施設の修繕等に充てることができるようになっております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。

これで歳入の質疑を終わります。

次に歳出の質疑を行います。歳出も同様に一括で行います。質疑ありませんか。6 番吉田清尊議員。

○ 6 番 吉田清尊 議員 16 ページの 6 款農林水産業費、1 項農業費、3 目農業振興費、15 節工事請負費の 1 億 5,565 万円、災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業、この詳しい内容について説明を求めます。

それから次のページです。7 款商工費、1 項商工費、2 目観光振興費の中の 9 節、11 節、12 節、それから 14 節、15 節です。それにそれぞれ本部半島・伊江島エリア観光促進事業がございますけれども、この詳しい内容について説明を求めます。それから同じページの 5 目景観形成強化支援事業、15 節工事請負費で減の 339 万 8,000 円、17 節で公共財産購入費 339 万 8,000 円、これについてこの内容の減、増の中身について詳しい内容の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 6 番吉田清尊議員の質疑に対しまして説明いたします。

まず16ページ、6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費の15節工事請負費についての災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業について説明いたします。今回の事業については3地区に分かれておりまして、与那嶺、仲尾次、崎山地区で事業を進めていく予定です。受益者は10名を予定しておりまして、面積についても1万3,800平米を予定しております。先ほど歳入でも補助率の説明をいたしましたけれども、10分の8以内ということでの事業費となっております。

続きまして、17ページの7款商工費、1項商工費、2目観光振興費の9節の説明をしたいと思います。9節につきましては旅費を計上しております。その中身につきましては、内閣府との調整事項について、内閣府からヒアリング等の要求がございましたら行かないといけませんので、そのときの旅費を計上しております。需用費につきましては、こちらの事業に使用する消耗品等の予算の計上をしております。次の役務費に関しては完了検査申請手数料を計上しております。あと委託料につきましては工事管理費を計上しています。もう一つのものが14節の使用料については、刊行物掲載価格情報利用料金ということで、これは県のほうに支払わないといけない使用料だということでの計上になっております。工事請負費に関しましては、今回工種自体は4つありますけれども、その中で建築工事をさらに3つに分けてまして、全部で6つの工事を予定しております。以上でございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後1時39分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後1時39分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 6番吉田清尊議員の質疑に対してご説明いたします。

17ページ、7款1項5目景観形成強化事業の15節工事費及び17節公有財産購入費につきましては、今度実施します喜屋武材木店の前の排水路の工事費から公有財産の足りない分を組み替えして、工事費から回しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 災害に強い高機能型栽培施設の導入事業ですけれども、1万3,800㎡ということで10名の方々ということでありますが、この10名の方々は平均で、これはビニール強化ハウス事業なのか、その細かい内容について。それから受益者1人当たりのこの面積です。それから、この作物は何を予定しているか、お伺いしたいと思います。

それから本部半島・伊江島エリア観光促進事業、これは古宇利のふれあい広場の事業ではないかと思いますが、具体的にお聞きしたかったのはその事業の主に工事請負の内容です。何について、例えば駐車場とかトイレとかというのがあるのか。そのあたりの詳しい内容についてお伺いしたいと思います。

それから景観強化事業ですけれども、購入費ということでありましたが何平米でどの場所なのか、お伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑に対しまして説明いたします。

まず災害に強い高機能型栽培施設の事業の詳細ということなのですが、昨年から名称が変わりまして、この名称になって進めている事業でございます。趣旨といたしましては、災害に強い高機能型栽培

施設の導入推進事業は沖縄21世紀ビジョンに基づき、高品質でかつ安全で安心な園芸作物を消費者や市場に計画的、安定的に供給できるブランド産地を育成し、産地みずからが育成・成長させることができる自立した産地を形成するため、台風等気象災害や気候変動に対応した栽培施設の導入を推進するということの趣旨になっております。もちろん前からヒートポンプとか、そういったものを新たに強化としてつけ加えられた事業でもございます。1人当りの面積といたしますか、これは受益者3戸以上なければ申し込みができないものでございますので、まず1地区については4名の方で5,200平米、2地区に関しては3名の方で4,300平米、3地区に関しては3名で4,300平米です。1地区に関しての作物がスイカとゴーヤー。2地区がスイカ、ゴーヤー。3地区に関してはマンゴーということで事業導入ということになっております。あと17ページの工事の工種について質疑があったと思うのですけれども、まず駐車場等の土木工事、次に飲食ブース等の建築工事、続いてトイレ等の便益施設の建築工事、排水等の処理施設工事、工種的には4つなのですが、先ほども説明しましたが6つに分けて発注を考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質疑について説明いたします。

受益者は6名です。個人情報の件がありまして、個人名は差し控えたいと思います。面積については147平米余りを買取る予定でございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 この災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業でありますけれども、スイカ、ゴーヤー、マンゴーということでありますが、これについてはこの事業は名称が変わってずっと継続されてきているわけでありましたが、今回の事業について希望の方々は全部採択されたのか。あるいは、それはやはり厳しくて、なかなか全部が当たるわけではないのか。そのあたりのことと、あとその農家の方々の選定方法について伺いしたいと思います。

本部半島・伊江島エリア観光促進事業でありますけれども、駐車場、トイレ、シャワーとかそのあたりの面積とか、あるいは何カ所とか、フードコートも1カ所なのか、数カ所あるのか。そのあたりについて伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後1時45分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後1時46分)

久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 まず16ページの災害に強い高機能型栽培施設の導入の件なのですが、まず希望者全員かということではありますが、今婦仁村の割り当て上、希望者全員が該当するわけではなくて、その中でまずはそれぞれの団体から希望者を募りまして、その中でこれまで導入したことのない人とか、もちろんいろんな納税関係も確認しますが、あと申告の問題とかそういった中身を勘案しながら、その組合と調整をしながら、まずは今年度割り当て分の額から確認しながら進めているということになります。あと17ページの古宇利拠点施設の概要につきましては、駐車場が大型車専用が8台、普通車専用が32台、兼用バスで21台となります。飲食棟が1棟です。便益も、トイレ等も1棟です。あとパーゴラの改修が入ってきます。今年度はこのパーゴラの改修を除く建築工事までを行います。ということでは次年度

はパーゴラの改修のみを残して、今年度は土木建築管理業務、備品購入まで入れて進めていって、次年度に関してはパーゴラの改修を進めていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの6番 吉田清尊議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 本部半島・伊江島エリア観光促進事業でありますけれども、このパーゴラというのはふれあい広場、既設の施設の改修と理解してよろしいのか。あとちょっと聞き漏らしたので、この食事処は1カ所なのか。それで面積はどれぐらいなのか。それについてお伺いしたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 17ページの古宇利島観光拠点施設整備のまず飲食棟についてですけれども、とりあえず5業者が入る予定のものを建築する予定でございます。飲食棟については495平米を考えております。あとパーゴラの改修、現時点の古宇利ふれあい広場のパーゴラの改修についてなのですが、現在手づくりといいますか、これまできれいにサッシとかが入ってなかったものを、きちんと盗難のことも考えながら、回りをサッシ等で囲って防犯面からも、また空調関係からもしっかり整備していこうということで整備を考えております。軒等が空いている部分に関してもアクリル板等できちんと埋めて、風雨等から濡れないようにすると、通路等もしっかり整備していこうと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 先ほど14ページ、歳出、3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費、工事請負費の幼保連携一体化促進事業、供用開始は来年なのか。それとこの運営はどこが担っていくのか。民間なのか、どういう形で運営するのか、お伺いします。

次に17ページ、先ほどもあったのですが古宇利の本部半島・伊江島エリア観光促進事業の中で駐車場等、中身のいろいろな答弁があったのですが、防災云々の関係で古宇利にも防災の避難場所、コミュニティセンターということがあったのですが、こちらにシャワー室を入れるのかどうか。入れなければ公民館等にシャワー施設をつくるべきだと思いますけれども、コミュニティセンターになれば、新しい庁舎にもそういう形で防災の避難場所のときにということでもありますので、この中にシャワー室も入れることができるかどうか伺います。先ほど課長の答弁では、今のものをつくってあと、今ある古宇利の施設をリフォームするのは次年度ということであったのですが、このリフォームはクーラーとサッシだけなのか。中の天井もリフォームに入っているのかどうか、伺います。以上。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいま10番與儀常次議員の質疑についてご説明いたします。

まず幼保連携一体化施設につきましての供用開始につきましては、令和2年4月1日の予定をしております。また、運営主体につきましては今帰仁村です。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後1時53分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後1時54分)

久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 10番の與儀常次議員の質疑に対しまして説明いたします。

まずシャワー室の件なのですけれども、先ほどの沖縄観光防災力強化支援事業の件と少し混ざってとい
いますか、そういったら全く別で、このふれあい広場に関しましては別で今現在、シャワー室を整備し
ようと考えております。というのは、駐車場の横にトイレを整備しながら、同時に現時点でシャワー室は整
備しよう。ただ、今時点でまだ内閣府との調整中でございますので、事業費によってはどういうふうに
なるかまだ決定はしておりませんが、シャワー室の要望は上げております。あとパーゴラの改修に関しま
して、現時点のふれあい広場の販売している場所の回りをきちんとやっていこうということです。あと空
調に関しましては事業費がかなりオーバーしておりまして、後づけできるような体制はしていきたいと考
えております。なので準備できるような体制はしておきながら今回の事業については、空調までは今のと
ころ設置はできないということにはなっております。要望としましても、余り入ると人が動かないとい
うこともありまして、今だとすぐ買って外に出て、ビーチに出て、人の流れが非常にいいということも
あって、このままでもいいのではないかと。様子を見ながら進めていこうということもありまして、それ
を踏まえて現時点でクーラーの設置、事業費も関連しますけれども、今のところは検討中ということに
なっております。

○ 座間味 薫 議長 10番與儀常次議員。

○ 10番 與儀常次 議員 今シャワー室も検討中ということであつたのですけれども、新しいトイレを
つくりますので、この中に入れながらすぐ使えるように努力していってほしいのですが、可能性とし
ては何割ぐらいこちらにできそうなのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑に対しまして説明いたします。

可能性をそこでまたはっきり言うのは厳しいものがありますけれども、こちらとしては要望はしてい
たいと考えています。観光客等の方がビーチに行くと、どうしても砂がついているとかそういったことが
あって、そのままバスに乗り込むのも非常に厳しい状況でございますので、やはり足洗い場とか、そう
いったシャワーに関しては整備していきたいと考えておりますので、その辺を含めてまた現時点で調整し
ていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 17ページの7款商工費、1項商工費、2目観光振興費の中の13節委託料の
一番下の今帰仁村着地型観光推進事業799万5,000円の説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 3番與那嶺 透議員の質疑に対しまして説明いたします。

17ページ、7款1項2目の観光振興費の中の13節委託料の今帰仁村着地型観光推進事業について説明い
たします。まずこの事業概要としましては、村の魅力ある地域資源や観光施設、宿泊施設の情報発信を強
化するとともに、今、観光協会が行っている教育民泊事業の受け入れ体制を整え、誘致活動を行い、着地
型観光を促進するという事業の概要となっております。まずは今年度、民泊事業者の受け入れ体制を整え
るということで一括交付金を活用して進めていきたいと考えております。することによって、教育民泊に
来た方が将来またリピーターとなってもらふことも含めて、きちんと体制を整えて進めていくことにより、

今後また今帰仁村のほうにリピーターが来るのではないかという期待を込めて、この事業を導入しております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 民泊事業ということでありますが、この委託料も観光協会のほうにこの金額は行って、そこでやってもらうという理解でよろしいでしょうか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑に対しまして説明いたします。

議員がおっしゃるとおり観光協会に委託をして、その中で進めていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 では、この金額は観光協会のほうから要望があつて、この金額になったのか。それとも根拠というのですか、そういったのも示されていて、この金額になっているのか。伺います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑に対しまして説明いたします。

まず根拠といたしましては、観光協会と十分調整した中で県のほうにエントリーいたしまして、人件費、あと民泊事業者の料理教室等、あと民泊事業者ガイド講座、アレルギー対応講座とかそういったものをもろもろ積み上げていきまして、やはりこの事業費でないと進められないという中で進めていった金額でございます。こちらのほうで勝手に決めてはなく、観光協会の現時点の給与表を用いながら積み上げていった金額となっております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの3番 與那嶺 透議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。3番與那嶺 透議員。

○ 3番 與那嶺 透 議員 理解いたしました。まず、この民泊事業を成功させてやっていただきたいと思いますが、もう一点確認ですけれども、先ほど人件費にも充てられるとありましたが、これは何人分の人件費になるのか。1人新たに採用してという感じになるのかとは思っているのですが、何名を想定して、この金額になっているのか。これは多分1年間だとは思いますが、その辺の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑に対しまして説明いたします。

人件費に充てるということが主になりますけれども、体制的には2人体制でいきたいということで進めておりまして、議員がおっしゃるとおり1名増員を考えております。それも踏まえて今観光協会と調整しておりまして、その中でご存じのとおり今年度に入って観光協会の人員が少し減りましたので、そのマンパワーがかなり不足しておりまして、そういった中を踏まえるとやはりこれだけの事業費になると難しいこともございますので、1名を増員しながらその中で調整して、もちろん役場との調整も踏まえて県、国の指導・助言も受けながら進めていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 では歳出、質疑いたします。

先ほどの歳入とちょっとかぶってしまう部分がありますけれども、改めてもう一回確認ということで13

ページ、2款1項8目の沖縄観光防災力強化支援事業、改めてこの38万3,600円と128万2,600円の説明を求めます。

あと17ページ、7款1項2目の13節の委託料なのですけれども、沖縄観光防災力強化支援事業の50万7,100円の委託料の内容。そしてもう一度、今回観光協会が事業の中で進めていく今帰仁村着地型観光推進事業、今説明の中で民泊事業者の資質向上を目的とした部分での料理教室とかガイド講習等がありますが、改めてもう一度これの詳しい内容の説明を、人員を2人ふやすとか、その辺の内容をもう一度改めて説明を求めます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 5番座間味邦昭議員の質疑についてご説明申し上げます。

13ページの2款1項8目防災対策費の11節需用費、沖縄観光防災力強化支援事業の38万4,000円につきましては、備蓄食料の購入に充てられるものでございます。これは先ほどもちょっと説明いたしましたが、保存食セットです。これは3食入っての3日分ですけれども、これの80セットの代金となります。あと18節備品購入費における128万3,000円につきましては、発電機を2台、それからLEDライトリール2台の購入代金ということになります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 5番座間味邦昭議員の質疑に対しまして説明いたします。

17ページの7款1項2目の13節委託料の沖縄観光防災力強化支援事業のマップについてですけれども、先ほど総務課長のほうから事業の趣旨につきましては説明があったと思うのですが、その内容について商工観光のほうで行うのが事業促進費の中で観光防災マップ、これは2万部を予定しておりまして、現在観光協会のほうに「今帰仁村のんびりマップ」というのがございますが、その中で新たに古宇利と今帰仁城跡のほうにあります文化センターに避難所を新たに追加していただくという委託費でございます。

同じく17ページの民泊の事業に関しましてですけれども、受入体制強化事業の中もちろん人件費がありますが、そのほかに民泊事業者への料理教室、あと民泊事業者ガイド講座、民泊事業者のアレルギー対応講座、民泊誘致活動費、あとは自動車等のリースも入れてこの金額になっているということでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 今説明いただきました。では、また一つ一つ改めて確認したいのですけれども、13ページの8目の需用費と備品購入費、11節と18節、先ほど歳入から聞いてはいますが、今回いろいろと観光客を含め緊急時の対応の中での、この発電機はどの程度の規模のものなのか。実際どういう能力がある発電機を導入しようとしているのか、お伺いいたします。

それと17ページの委託料の中の防災マップですけれども、前にも防災マップを見た覚えがあるのですが、改めてもう一回2万部を刷って配るとするのは、大分内容が変更になった部分があるのか。自分の勘違いだったらすみません。その辺はまた指摘していただきたいのですけれども、前に私もいただいたことがあるような気がするので、また改めて2万部を出す必要があったのか、お伺いいたします。

あと観光協会がやっている民泊に関して、今後、村としても観光民泊に対しての力を入れていくという

ところでの意気込みなのかなというところで、今後そういった形で観光協会に対していろんな事業を含めて、民泊に限らず今帰仁村の観光振興のための、あるいは連携して今後ともいろんな事業を組み合わせせて取り組んでいくのか。その辺を含めてお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

発電機についてどれぐらいの容量かということでございますけれども、すみません、持ち運びができるものということでの発電機という理解はしているのですが、何kWという容量が今手元にございませんで、後ほど報告させていただきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 マップについてでございますけれども、今回に関しては観光協会が出した「のんびりマップ」の中に2カ所入れていただくということになっております。新たなマップではなくて、今ある既存のもの、観光協会が出しているフリーのものに古宇利と文化センターのものをに入れていただいて、今回に関しては各観光施設とかそういったところに配付していくということになっております。今後またいろいろ事業等を導入できるのであれば新たに入れていきますけれども、今回経済課で行うマップに関してはそこに入れていくということとなっております。また、おっしゃるとおりいろんな意味で観光協会が連携しなければ、こちらもそういった事業等も進みませんので、今後もしできる限り連携しながらいろんな事業を組み入れながら進めていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後2時13分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後2時13分)

5番座間味邦昭議員。

○ 5番 座間味邦昭 議員 では改めて、先ほど発電機は持ち運びができるものというところでお伺いしたのですが、当初は歳入の際に予算を計上したという根拠の中での人数の算出の仕方というところをお伺いしたいのですが、240～250名が3日間過ごすという想定で、非常食は3年をかけて準備していくという中で、発電機が持ち運びできるといったらどれぐらいの想定をしているのか。ただ、ラジオとかテレビとか、発電機でテレビの回りを光らせる程度の内容で想定してあったのか。非常食としては250名近くの3日間を想定している割には、発電機は小さいなど。ただ、私は当初大きいやつなのかなと思っていて部分もあって、実は発電機を購入する必要があるのかなというのは疑問な部分があって、災害によって10名ぐらいの避難であったり、最大が200名といった場合には、その発電機の容量というのは全く違ってくると。ある意味こういったものはリース会社と災害時の協定で結んで、その際には発電機を供給するとかということを経れば済む話だったのではないのかと。これは災害の規模によって、今の災害って本当にポータブルな、ここのコミュニティセンターで対応するような話ではなくて、こういう対策のものではないというのを今実感したところで、その辺今後これはこれとしてあったとしてもこの対策、この機械を行政が持ち過ぎるというのは維持管理もできないし、余り効率もよくないのかと。そういう意味では機械とかそういったものに関しては、なるべくリースとかレンタルとかで緊急時の、その災害の協定さえ結んでおけば対応できるような体制でいいのではないかと。逆にそれよりは今言っている、実際本当に災害が

起きたときの対応ができない、シャワーにしてもトイレにしても、そういったものを今後考えていくというところで、ものを余り持ち過ぎるというのは効率がよくないですし、その辺はすみ分けて考えていったほうが、また新たに3年間の間に発電機を4個、5個、10個とかとふやしていくことは、余りいい結果は生まないのではないかと。それよりは今回最低限の発電機だということ、今後のいろんな災害に対応するためには、こういった業者と協定を結んでそのときに対応をお願いするというふうに持っていったほうがいいのではないかと思います、その辺をお伺いいたします。

あと防災マップに関しましては、てっきり自分は村民向けの防災マップであったと思っていましたが、今回ののは観光客に向けた、ある意味今帰仁村の観光をアピールしながらも災害のマップを推すということで理解いたしましたので、その辺はまた観光施設に配置してほしいと。あと観光協会が今回事業で着地型観光推進事業と、民泊の部分を強化する体制とか、民泊事業者の質の向上を含めた対応ということでの予算であると。今後連携していくというところの中で、実際観光協会はこれからどんどん仕事がふえていくのではないかと。民泊というのは一つの柱であるかもしれないけれども、今回クルーズ船の受け入れに対してもいろんな意味で、今帰仁村の観光協会が今帰仁村の観光のピーアールを含めて発信していく場所になっていくというところでは、今後民泊だけに限らず今帰仁村の観光の拠点の事業所として、ぜひ今帰仁村としてもいろんな意味でどんどんこういった事業を絡ませながら、観光協会が純粋に今帰仁村の観光を発信できる事業所になれるようにぜひ支援していただきたいと思っていますので、これも含めて民泊だけに限らずこれから起こり得るクルーズ船、またいろんな意味での今帰仁村の観光の情報発信施設として村と連携していく思いがあるか、その辺も含めて答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

発電機についてリースの業者と協定等を結んだほうがよいのではないかと、どう考えるかということだと思います。これは実際台風時とか一度発電機をリースしようとしたときに、もうリース会社で発電機が出払ってしまって借りられなかったという経緯もありますけれども、この辺はやはりどのような大きさの、どのような災害が起こるか想定が難しいところもありますので、この辺はリース業者との協定とかという部分については今後検討させていただきたいですし、これまで建設事業協会であったりいろんなところと協定を結んでおりますので、その中の一部として発電機等のリース会社等についても呼びかけられる部分には検討していきたいと思います。以上です。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 まず観光協会の事業説明会の中で、世界中の人に今帰仁を知ってもらい、好きになってもらうことを基本理念として業務を行っていくということがございます。もちろん村としましてもしやなれば、かなりいろんな方々が村に観光客として来村する。また、いろんな意味でお越しいただくということも踏まえ、そういった中でもやはり支援はしていかなければならないと考えております。まずは今回一括交付金を活用しながらできるこの民泊の事業について、それもまた周遊型ではなく着地型まで持っていきたいという流れのもとで進めておりますので、それを踏まえると十分今後も連携するに値するという、おこがましい言い方ではございますけれども、連携しなければ逆に村としてのマイナス面が

大きくなるのではないかと考えております。ですので、議員おっしゃるとおりしっかりと連携をしながら、今後もできる限りの支援を進めていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 議案第34号、歳出について質疑いたします。

13ページ、2款1項8目、歳入からもありましたが沖縄観光防災力強化支援事業ということで、これは目的として大規模災害時に想定される観光客の避難者に対し、市町村の対応を支援するという目的があると思うのですけれども、これを見たときに私がぱっと思い浮かんだのが、今帰仁村の場合でしたら今帰仁村地域防災計画、その辺が本当に浮かんだのですが、歳入の中で5番議員からも提案がございましたけれども、この今帰仁村地域防災計画にのっとって見てみますと橋梁が通行不能となった場合とかそういうものもあるのですが、この通行不能となった場合、古宇利区というのは孤立してしまいます。孤立したところに物資を輸送するとしたら、船が出られなかったと仮定してヘリとかしかないのかと思うのですけれども、そこにも載っていましたが、このヘリポートの輸送拠点の確保、この事業はそういうものも該当するのでしょうか。それと観光施設とか避難場所、そういうところの標識が観光施設はたくさんありますが、この標識とかそういうのが設置されているのかどうか。そういうことを確認したことがあるのかどうか、この説明。それと災害が起きた際、避難する方というのは健常者だけではなく高齢者、障がいを持った方、そういう方もいると思うのですけれども、避難所で生活することが困難な方、対象となる福祉避難所、そういうのを古宇利区で開設できるかどうか。この辺の説明を求めます。

続きまして14ページ、3款2項1目15節工事請負費、これの工事内容、そして進捗状況、そしてこの工事が順調に行っているのかどうか。その辺の説明を求めたいと思います。

続きまして17ページ、7款1項2目の15節工事請負費、この工事の詳細、先ほど4つとありましたけれども、この辺の詳細の説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後2時26分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後2時27分)

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後2時27分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後2時39分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 8番與那議員の質疑についてご説明いたします。

13ページ、2款1項8目防災対策費の沖縄観光防災力強化支援事業の古宇利区においての高齢者、障がい者の避難の件でございますけれども、現在災害時に非常に大事なことでございます。災害時等における施設利用の協力に関する協定ということで古宇利オーシャンタワーとの協定のほうを平成30年12月26日に交わしまして、高齢者、それから障がい者、そこのほうの避難もおくれないようにということで協定書を交わしてございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 8番與那勝治議員の質疑についてご説明申し上げます。

先ほどヘリポートの整備について観光防災力強化支援事業で整備できるかということでございましたけ

れども、この事業につきまして大きく食料の備蓄、もしくは多言語避難誘導看板の設置、あと外国人観光客に対応するための既存施設等への防災情報センター機能の付加、それから先ほど経済課長からもありましたように避難誘導マップの作成等、メニューはそのような感じでありまして、このヘリポートの整備についてということが補助メニューにあるかということ、まずぱっと見る限りではないような気がしますが、この辺については促進の取り組みについてということで大きく捉えられるようなメニューも中に書かれているものもありまして、この辺がどこまで取り組みとして認められるのかというのがございますので、この辺については関係機関、総合事務局にも問い合わせ、どの辺まで対応できるのかというのは確認させていただきたいと思います。

それから古宇利島の島内に設置されている標識について確認はあったかということなのですが、公民館については避難所としての看板はあるかと思いますが、誘導サイン板としての機能があるものが島内に設置があるかということではないかと思います。これについてまだ逐一確認してということではありませんが、今実際あるのは古宇利環境改善サブセンターの避難所としての看板だけだと認識しております。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃 幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 ただいまの8番與那勝治議員の質疑についてご説明いたします。

14ページ、3款2項1目15節工事費の件ですが、これは幼保連携一体化施設整備事業、平成30年までで繰り越し事業を行っております。継続事業の追加分です。工事の内容につきましては、園の正門左右にごます保護者の園児送迎用の21台分の駐車場の路盤工、舗装等の整備であります。現在の進捗状況につきましては、恐らく平成30年度事業までの進捗状況かと思われますけれども、この件につきましては繰り越し分で建築、機械整備、あと備品購入費などはもう既に完了しております。現在外構部分が残っております、また次の議案の報告第5号でも説明するかと思いますが外構部分の追加工事、また雨天時等で工期が少し延びますので、その延びる件につきましては後ほど説明したいと思いますが、おおむね順調に工事は進んでいる状況です。以上です。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史 経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 8番與那勝治議員の質疑に対しまして説明いたします。

17ページ、7款1項2目の15節工事請負費の詳細ということなのですが説明したいと思います。先ほど吉田議員のほうからもありましたが、それと重なるかと思いますが駐車場新設で大型バス専用が8台、普通専用で32台、兼用バス21台、普通車が43台、大型バス最大で29台、普通車最大で75台とめられる駐車場を整備する予定でございます。あとトイレ、シャワー、販売ブース、飲食ブース5室、観光案内所、倉庫、あとはパーゴラの改修につきましては次年度を計画しております。いずれも今担当省庁であります内閣府と最終の調整を行っておりますので、それを踏まえて発注に向けて進めていきたいと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 13ページのところからなのですが、観光防災力強化支援事業ということで、先ほども言いましたが今帰仁村地域防災計画、これもやはり進捗状況を含めて気になるところでもあるのですが、例えば古宇利区は観光客が物すごく多い地域でありまして、いろんな事業も当ては

まると。観光客の避難とかそういうものに対して今回予算がつきました。こういうものに対して、今後も予算がつく可能性も十分あり得ると思うのです。その中で計上されたのが今回、発電機だとかLEDライトリール、食料備蓄、そういうものだけだったというのが何かちょっと残念なところと思います。この防災計画を含め参考にして、これは使えるのではないかとかなければ、一つのことをするのに村の防災計画にのっとってできていきますので、それを見ながらもう少し大きなことを考えて予算計上をしていけたらと思っております。絡みまして、この今帰仁村防災計画を見てみますと飲料水とか、食料の供給というところもあります。村及び観光施設の管理者は可能な限り飲料水、食料等を供給するというのもあります。これを考えると食料備蓄のところの中で飲料水も確保しないといけないのではないのかと。予算を見てもまだまだ199万円と低い予算でありますので、もっともっと要求できるのではないかと思います。

またあとヘリポート、ヘリが輸送拠点として確保できるかどうかというところもあったのですが、これは現段階でこのヘリが着陸できるそういう拠点があるのかどうか。仮に津波とかそういう大きなものが来た場合、そういうときでもヘリの輸送拠点が確保できるかどうか。できなければ今後これは確保しないといけないと思うのですが、この辺の動きまで説明を求めたいと思います。

そして障がい者福祉避難所、これは健常者でもやはりこの避難所というのは大変なところもありまして、先ほど5番議員からもあったように暑さだとか、シャワーだとかそういうのも含めて大変なところがあるのです。だからオーシャンタワーと協定を結びました。これだけでは私は全然だめだと思っています。県外の例とかも見てみますと、福祉施設とかその辺と連携しているのです。古宇利はたしか福祉施設とかそういうのがなかったと思うのですけれども、よりハードルが高い地域になっているのかと思うのですが、この辺まで加味してこの説明を求めたいと思います。

幼保連携のものなのですが、これはまた後日聞きたいと思います。これはこれで以上にしたいと思います。そしてこの工事請負費、これはいろいろ分割して発注されるのか。その辺を考えているのかどうか、説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 ただいまの質疑についてご説明申し上げます。

まずヘリポートについてですが、現在の状況ですが古宇利島には海水浴客もたくさんいまして、中には年間に何度かドクターヘリも使用されている経緯があります。その際にはやはりヘリポートとして橋詰広場、今現在のふれあい広場食堂のある、あのあたりの芝生の広場がございますが、そこをヘリポートとしてヘリを降ろしているような状況にあります。ただ、議員がおっしゃったように津波等大規模災害が起きたときに、そのヘリポートが使えるのかということになりますと、古宇利のサブセンターが海拔が2.4mぐらいということで、どうしてもやはりすぐ隣にありますので、かなり海拔としては低い位置にあるかと思います。今後その大規模災害を想定したときには、このヘリポートももう少し高台といいましょうか、海拔の高いところに移動していくのが好ましいかとは思いますが、これについてもやはり防災計画に上載していますので、今後検討せざるを得ない課題なのかと考えております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午後2時52分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後2時52分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまありました災害時における、議員がお話ししたシャワー室等も含めた高齢者、障がい者の受け入れ体制ということでございますけれども、今、協定書のほうは取り交わされております。それで、その中でまた話し合いをしていくというところもありますし、あとまた古宇利における事業所関係、民間も含めてそちらのほうと調整しながら今後検討していく方向で考えていこうかと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質疑について説明いたします。

工事の発注方法についてなのですが、村としては分割で発注を考えております。一括発注ではなく土木工事、建築工事を3つに分けて建築・電気・機械設備に分ける予定でございます。あとトイレについては、トイレと排水処理施設にはそれぞれ単独で発注して、合計しますと今のところ6つに分けて発注を考えております。もちろん村内業者を優先的に考えておまして、どうしてもということであれば村外等も検討しなければならないと思いますが、今のところ村内で十分該当するかと考えております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後2時54分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後2時54分)

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後2時54分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時05分)

8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 今回沖縄観光防災力強化支援事業という事業がありまして、今帰仁村地域防災計画、これを考えるきっかけにもなったのかと思っているのですが、これにのっとなって先ほど福祉保健課長からの答弁の中で、まだ防災計画がないという答弁でしたよね。休憩を求めます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後3時06分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時07分)

8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 この今帰仁村地域防災計画、これを改めて見つめ直すきっかけにもなったと思っているのですが、この観光客の多い古宇利区において、そして大規模災害が起きた際を考えた場合に橋が使えないとか、そう考えた場合に福祉避難所、この辺も含めて古宇利区に福祉施設とかその辺を誘致できないのかどうか。それと個人向け、小さなホテルとかみたいなそういうのもあるのですが、そういうところとこの協定を結んだらどうかというところなんです。この辺の説明を求めたいと思います。それともう一つ、工事請負の中で6つに分けて工事を発注すると。それによって村内業者に対しての優先発注が可能であると認識しました。これは私もぜひ村内業者に優先的に発注していただきたいと思っておりますけれども、再度この辺、これはもう発注して村内業者を支援・育成していくという明言をいただきたいと思うのですが、この辺の説明を村長のほうから答弁を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質疑についてご説明します。

1点目、今ご提案がありました宿泊施設につきましては、今後予定しているところもございますので、今後そういう事業所との話し合いを進めていこうというふうに思っております。あともう一点、高齢者施設につきましては、要望等、古宇利区につきましてはそういう話は今ございませんが、話がありましたらまたそういう受け入れ施設と兼ねて、福祉施設の要望があった場合にはそれを念頭に話を進めていこうかと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午後3時11分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後3時15分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質疑の中で、私のほうで介護施設等の要望がないということでお話ししたのですが、旧古宇利診療所の跡地について、今要望のほうが上がっております。これはただいま沖縄県との調整中でありまして、まだ具体的には進んでいないところがありますので、これについては今の説明のほうでご理解をお願いしたいと思います。今後のお話として、今観光客と、あとまた要支援者を含めて福祉保健課だけではなくて、また総務課も含めながら、どのような受け入れ体制がいいのかも含めて今後協議していきたいと思っております。まずこちらのほうの前提としましては、介護施設につきましては申請がありましたら、また計画に乗っていくという手続もありますので、そういう手続等も踏まえて調整していきたいと思っております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 8番與那勝治議員の質疑に対してお答えいたします。

17ページ、7款商工費の15節工事請負費、本部半島・伊江島エリア観光促進事業の工事請負費3億8,356万円出ておりますけれども、先ほど担当の経済課長が答弁いたしましたとおり、この工事については6つに分けてやるということですが、いずれも村内の業者が対応できる工事でありますので、全て村内業者に発注をしていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 ただいまの8番 與那勝治議員の質疑は既に3回に達しましたが、会議規則第55条ただし書きの規定により、特に発言を認めます。8番與那勝治議員。

○ 8番 與那勝治 議員 一点だけ、福祉保健課長から調整していきたいとあったのですが、この地域防災計画とかそういうのにも考えながらやっていると、やはり今後福祉施設はぜひ必要ではないかと思っています。要望が今現時点であると思うのですが、要望がある中でこの進まない理由とかもあると思うのですが、この辺なぜ進んでいないのか。この説明を求めたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質疑についてご説明いたします。

ただいまありました件につきましては、まずは役場のほうで跡地利用として観光、それから福祉医療ということで協議をした経緯がございます。その中で福祉医療ということで協議を進めていく中で、県のほうにそれで進めていくということではあるのですが、今、進める中でこちらと向こうの当局では申請書類についてはある程度固まっているところでありまして、それから県のほうは、これから厚生労働省の

ほうに村としての施設のあり方ということでの協議の確認をとっているところでございます。以上です。

○ 座間味 薫 議長 ほかに質疑ありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「質疑なし」と認めます。

これで歳出の質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「討論なし」と認めます。

これから「議案第34号 令和元年度今帰仁村一般会計第3回補正予算について」を採決いたします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって「議案第34号 令和元年度今帰仁村一般会計第3回補正予算について」は、原案のとおり可決されました。

日程第5. 「報告第5号 専決処分の報告について」を議題といたします。

本件について提出者の報告を求めます。謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長

報告第5号

専決処分の報告について

地方自治法第180条第1項の規定によって別紙のとおり、専決処分したので同条第2項の規定によりこれを報告します。

令和元年7月29日提出

今帰仁村長 喜屋武 治 樹

専 決 処 分 書

地方自治法第180条第1項の規定により、議会において指定されている事項について次のとおり専決処分する。

工	事	名	幼保連携一体化施設外構工事
---	---	---	---------------

議決された契約の金額	6,328万8,000円
専決処分した契約の金額	159万8,400円

理 由

設計変更に伴う増額のため専決処分する。

令和元年 6 月 25 日
今帰仁村長 喜屋武 治 樹

なお、詳細については工事請負費の契約書をごらんになって、詳細については担当課長より説明いたします。

○ 座間味 薫 議長 宮里 晃幼保連携推進室長。

○ 宮里 晃 幼保連携推進室長 報告第5号 専決処分の理由につきまして説明させていただきます。

この設計変更に伴う増額等につきましては、工事の追加と工期の変更となります。認定こども園が子供たちの安全性の確保と快適に過ごしてもらえるよう、園庭の砂利の多い部分の土を良質土へ変更し、また引き型扉を見通しのよい片方門扉へ変更するというところです。また北側、これは低年齢児が使用する園庭になりますが、そちらのほうに運動機能を高めるための遊具を設置するとともに、その北側園庭に施設管理用の車両が進入できるような門扉を追加する。これらの数量増や金額の変更、また雨天時等によって土木工事に不測の日数を要していることから、工期の変更を含めた形の今回の契約の変更という専決処分という形になっております。以上です。

○ 座間味 薫 議長 次に、議決事件の条項、字句及び数字等の整理についてお諮りいたします。

本臨時会において議案等が議決されましたが、その条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第45条の規定に基づき、その整理を議長に委任することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○ 座間味 薫 議長 「異議なし」と認めます。

したがって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定しました。

これで本日の日程は、全部終了いたしました。

会議を閉じます。

令和元年第4回今帰仁村議会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。

(閉会時刻 午後3時25分)

上記、地方自治法第123条第2項の規定により次に署名する。

今 帰 仁 村 議 会

議 長 座間味 薫

署名議員 與 那 勝 治

署名議員 山 城 太